

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3358 号	氏 名	野尻 恵里
論文審査担当者	主査	村上 秀友 教授	
	副査	稲垣 克記 教授	
	副査	大塚 成人 教授	
<p>論文題名： Immediate effect of different ankle-foot orthosis functions with the same dorsiflexed setting of initial ankle joint angle on walking ability in individuals with chronic stroke: A randomized crossover trial （慢性期脳卒中片麻痺患者に対する短下肢装具の機能の違いが歩行の時間・距離因子に与える即時効果）</p> <p>掲載雑誌名： Journal of Physical Therapy Science Vol. 34, No. 7, P. 485-491, 2022 年</p> <p>野尻らは慢性期脳卒中患者を対象に、短下肢装具の機能の違いが歩行の時間・距離因子に与える効果を検討し報告した。短下肢装具の機能の違いに着目した報告は少ない中で、さらに短下肢装具の初期角度を背屈で一定とすることで、その機能の違いが歩行に与える効果を明確にしており、これまでに同様の報告はないことから新規性のある内容であった。また慢性期の脳卒中患者を対象とし、世界的にも脳卒中生存率が改善し、日常的に短下肢装具を使用する患者の増加が考慮されることから、検討の意義は高いと考えられた。結果として、短下肢装具の機能の違いが歩行に与える即時的な影響は認められず、慢性期脳卒中患者に対する短下肢装具の選定には、機能の違いは重要ではない可能性が示唆された。痙縮や拘縮による足関節の可動域制限や、患者自身が日常的に使用している装具が結果に影響を与えた可能性はあるものの、今後のさらなる検討につながる意義のある報告であった。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)